

II しつけ (乳幼児期・幼児期)

たかがお手伝い、されどお手伝い！ (乳幼児期)



こんなことはありませんか・・・？

4歳のりょうくんには、「くつそろえ」という家族で決めたお手伝いがあります。自分のくつはもちろん、お父さんの大きなくつも、妹の小さなサンダルも、いつもきれいにそろえてくれていました。

ところが最近は何となく、新しいおもちゃで遊びたくて、お母さんがどんなに注意しても「あとで」「わかってる」と言うばかり。そういえば、前に自分で言い出した「カーテン閉め」もすぐにうやむやになってしまったな、と思うとお母さんはイライラ・・・。



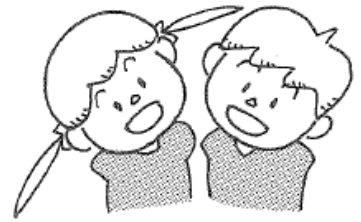
ワーク1

あなたがりょうくんのお母さんだったら、どう対応しますか？

ワーク2

わが子のお手伝いについて、うまくいったことや失敗したこと、心がけていることはどんなことですか。

Blank writing area with three horizontal lines for notes.



◇他の方の意見をメモしましょう！

Feedback box with a blue hand icon pointing right and the text "いいね!".

Feedback box with a blue hand icon pointing right and the text "いいね!".

今日気がついたこと、わが家でもやってみようと思ったことは何でしたか？



今日からぜひやってみてくださいね。お疲れ様でした。



自分や人のためにできることを増やしていくことは、親の大切な役目じゃよ。できることが増えて、「すごいね」「助かるよ」「ありがとう」の言葉をたくさんかけながら子育てができれば親も子も嬉しいのお。

ただなあ、子どもというのはいろいろな日があって、思い通りにならないときもたくさんあるもんじゃ。「こうでなきゃ」と決め付けず、肩の力をぬいて、子育てを楽しんでな。

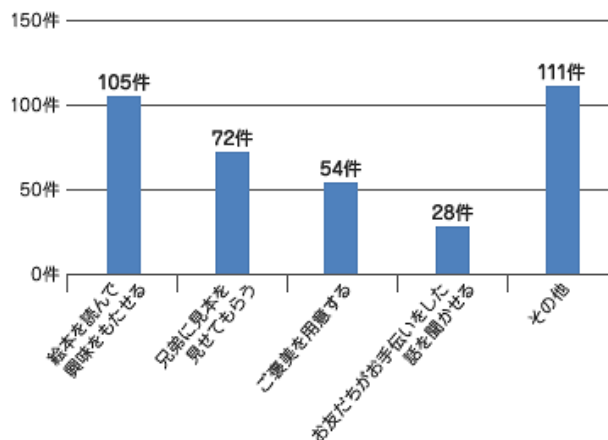
子どもがお手伝いをしてくれることは、親にとってうれしいことですし子ども自身にとっても、自立の第一歩となる身につけたい力ですね。子どものお手伝いの実態や気をつけたいことを紹介します。



お子様がお手伝いをしてくれるように、ママ・パパがしている工夫やアイデアがあればお聞かせください。

項目にないものは「その他」に具体的な内容をお答えください。(複数選択可)

回答	回答数
絵本を読んで興味をもたせる	105件
兄弟に見本を見せてもらう	72件
ご褒美を用意する	54件
お友だちがお手伝いをした話を聞かせる	28件
その他	111件
回答数	370件



その他

「おやつのお皿、持って行ってくれる？」など声をかける。やってくれたら「ありがとう！お母さんとっても助かるわ！」と大げさに喜ぶ。

お手伝いは楽しいこと、親が喜ぶこと、という雰囲気を出すようにしている。多少邪魔になっても絶対に文句は言いません。

その子の年齢や能力に合ったお手伝いを用意する。

一緒に買い物する時に、商品の場所を覚えさせ、簡単な買い物から始めて、慣れてきたら品数を増やしていきました。

帰宅後の主人に話し、その場で子どもを「すごいなあ、がんばったなあ」「おいしいぞ」などとほめてもらおうと、やる気を出し次につながります。

興味がありそうな顔を見せたら、多少難しくても「やってみる？」と聞くようにしている。

親と子どもとの普段の信頼関係。お手伝いをしてくれたら、物などのご褒美ではなく、心からほめること。

親が楽しそうにやっているとやりたがるので、仕事や義務ではなく、「楽しそうなことをやっているから私やりたい」と思わせる。

毎月、家でのお手伝いを1つ決めて、達成したらカレンダーにご褒美シールを貼る。

初めてお手伝いをしてもらう際、注意した・気を付けたことは何ですか。
(コメントの年齢は、一番下のお子様の年齢を表記しています。)

初めての お手伝いの内容	当時のお子様の年齢	具体的な内容
料理のお手伝い	1歳代	なるべく本人のやりたがることは止めずにやらせるようにした。(「邪魔」「ダメ」は言わないように) (1歳女の子のママ)
	2歳代	とにかく料理の手伝いをやりたがるので、何か危なくないことはないかと思い、よみともさんから頂いたアドバイスに従って、玉ねぎの皮むきをしてもらいました。やはり危なくないこと、失敗しにくいことからやらせることが大切かと思えます。(2歳女の子のママ) やりたい気持ちを大切にしつつ、怪我(切り傷、火傷)などに注意した。危ないということ、怪我をすることをあらかじめ話してから取り組ませた。(5歳男の子のママ)
食器の用意・片付け	1歳代	おはしやスプーン、フォークを運んでもらったのですが、持っているときは走らないように、気を付けました。(2歳男の子のママ) 失敗しても自分がイライラしないものをさせるようにした。(0歳女の子のママ)
	2歳代	割れ物のお皿を片付けようとしてくれたので、目を離さないようにした。また、たらいの中もお皿があると割れてしまうので、一緒に手伝ってほめるようにした。(1歳男の子のママ)
部屋の片付け・掃除	1歳代	「手伝ってくれてありがとう。お母さん助かるわ～」と声をかける。やることに意義があるので、細かいことを言わず、やり直さない。(1歳女の子のママ)
		注意はしない。遊びの一環とらえて好きにやらせる。(2歳女の子のママ)
		あらかじめ片付けやすいように収納場所・収納方法をシンプルにしておく。(0歳男の子のママ)
洗濯物を干す・取り入れる	1歳代	洗濯したタオルをたたおお手伝いをしてくれました。正直、たたむと言ってもぐちゃぐちゃですが、やる気を否定しないで、「上手だねえ、ありがとう」と言ってほめるようにしました。(0歳女の子のママ) 洗濯物をかごから私へ渡してくれました。ひとつひとつ、「〇〇ちゃんのシャツ」「ままのくつした」と話しながら、私が干します(2歳女の子のママ)。
	2歳代	時間がかかって、きれいでなくても、ゆっくり待ってほめる。(1歳男の子のママ)
新聞をポストへ取りに行く	3歳代	ポストに指を挟まないよう、郵便物を落とさないように言った。(1歳女の子のママ)
		簡単なことで、毎日続けられそうなことにしました。(5歳女の子のママ)

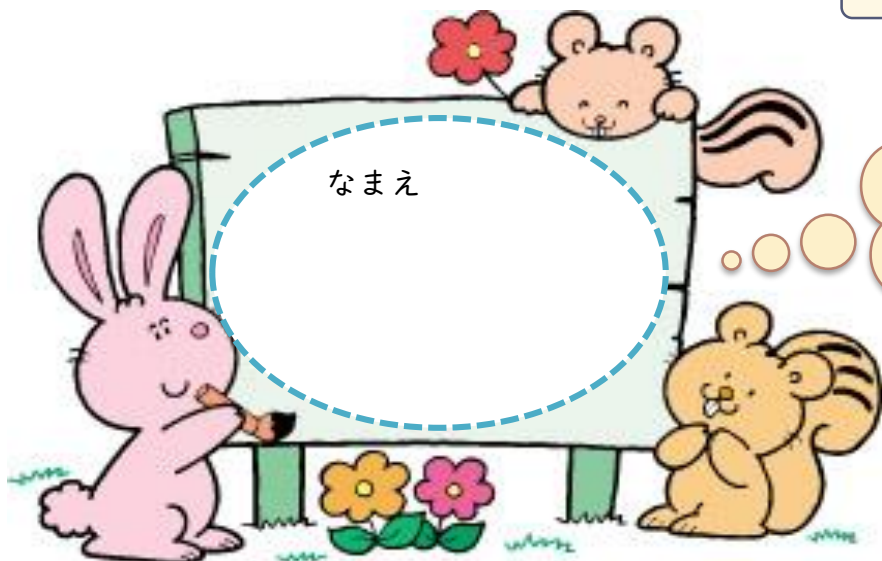
出典：公文教育研究会 mi:te [ミーテ] <https://mi-te.kumon.ne.jp/>



子どもに手伝いをさせるポイントを伝授しよう！

- その1 任せたら見守る
- その2 失敗しても叱らない・一緒にやって教える
- その3 やりたい手伝いは尊重する
- その4 やり終えたら「ありがとう」「助かった」と感謝の気持ちを伝える。

そして、一番大切なのは、毎日続けることを強制しないことじゃ。完璧を求めるとお互い大変だからのお。



おてつだい カレンダー

- ★表に日にちを書き入れましょう。
- ★取り組めたら、好きなシールをはったり、しるしを書いたりしましょう。
- ★下の絵をはるときは、あらかじめ切っておきましょう。

家(いえ)でがんばるおてつだい

日	日	日	日	日
日	日	日	日	日

